

山村祥子さん（博士前期課程2年）が、2015年9月に松本の信州大学理学部で開催された雪氷研究大会において、ポスター発表部門の優秀発表賞を受賞しました。

学生優秀発表賞は、学生会員の研究意欲を奨励するため、雪氷研究大会において優秀な発表を行った日本雪氷学会及び日本雪工学会の学生会員に贈られるものです。

山村祥子さんは、「中央アジア・天山山脈北部地域における山岳永久凍土環境把握に関する研究」の発表で、ポスター発表部門の優秀発表賞を受賞しました。中央アジアのキルギスタンに位置する天山山脈北部地域のキルギス・アラトー山脈を対象に、山岳永久凍土の空間分布を現地観測と衛星データ解析から明らかにしました。3回の現地調査を実施するなど、これまでの研究の成果が受賞につながったと考えられます。今後の活躍が大いに期待されます。

